



十月廿八、廿九日の二日間 (午後八時半より)
東京の三越来る
 平町、住吉屋本店にて出張販賣

- ◆◆ 目品賣販 ◆◆
- 御名、小紋、大島、銘
 - 仙、帯地、半衿、モス
 - リン等新柄異類類一級
 - 子供服、ショール、シ
 - ヤツ、靴下、石鹸、傘
 - 下駄、其他格安實用品
 - 御大禮記念として草履
 - 記念品、風呂敷等陳列

東京市 三越 日本橋

御大典用

軒提高張
 提灯行列用
 赤白提灯の注文は
 是非スガノヤへ
 石城郡平町四丁目
 スガノヤ提灯店
 電話七二二番



肉聲其まゝの高級
 ビクターレコード枚、50銭
 日本物と音楽
 蓄音器針は
 ビクター針先 35 燐
 一度御試聴下さい

蓄音器・貴金屬
會田時計店
 平町四(電三三三)

種々取揃へました
 大勉強いたします
 小供洋服は壹圓より其他特
 別格安もの多数是非御出下
十字屋洋服店
 平停車場前通り

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番
耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町(電話一七〇番)

セメント
 壁用材料
 コールタール
 ペンキ塗料
 板ガラス

磐城セメント株式會社
西村屋藥舗
 代理店
 平町二丁目(電三三)

わいの生衛
 的なき多養滋
 食パン一斤十六銭
 一ツ
 五銭

日丁四町平
ヤトモツマ
 番四一二話電

筑前琵琶教授 有山旭千師直門
古流 盛花折入 教授 家元師範
 松原齊 吉田理秀
 毎週日曜(平町大町若松醫院向いつみや方)



刊夕日七十二月十

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社同番地(電話六三〇番)

定 一部金貳錢 廣五號十二
 一ヶ月廿錢 告字詰一行
 郵税五厘 料五十錢 日刊
 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 發行所 常磐毎日新聞社
 電話六三〇番

家庭講座

童話を選ぶ
 場合の用意 (六)

川崎小鳥講述
 仙台放送局の講演速記

犬の飛び出して来た時にも
 桃太郎はあゝ云つたが、今
 度のお猿さんにもかな？と
 先に會得した意識が、子供
 の心にくすぐる様な快感を
 與へる、そして自分の解釋
 と一致するかどうかよく聞
 かうと期待する、その内に
 話の筋が運んで、自分の解
 釋通りであつた事に依つて
 初めて大なる満足を感じる
 のであります、もし又反覆

御大典記念品抽籤特賣

特賣期間 十月二十日より
 十一月九日まで

●特賣品目 時計貴金屬、裝身具、蓄音器
 ●抽籤券 御買上拾圓毎に一枚添ます
 ●御買上拾圓以下の御客様に洩れなく景品進呈
 ●抽籤券は百本を以て一組とし(いろは)各組
 ●抽籤券は十一月十日磐城新聞社に於て
 ●抽籤券の抽籤は十一月十一日磐城新聞紙上及
 ●當籤者発表 十一月十一日磐城新聞紙上及
 ●一才各處へ通知す
 ●景品引換 景品は抽籤発表後一ヶ月以内
 ●抽籤券引替に差上ります

景品の
 一等勸業債券額面拾圓一枚宛四本
 二等復興債券額面五圓一枚宛八本
 三等精工舎製硝子置時計一枚宛拾本
 四等上等メロニス風呂敷一枚宛 殘全部電七
 品壹組 一本も空籤なし
 奉祝記念として此絶好の機会を逸せず何卒御
 用命の程御願ひいたします

平町五丁目 金光堂時計店
 目店商平

蒲鉾店開業廣告

私事二十數年間藤市蒲鉾店に在つてその製造に従事い
 たし居り候處今回獨立して蒲鉾製造販賣に従事する事
 に相成候、材料風味共に吟味いたす考に候間何卒恩師
 藤市蒲鉾店同様御最良御引立の程伏して奉懇願候

蒲鉾類一式 御祝儀引物一式
 さつまあげ 吉原串あげ

電話一四一番に御申越次第迅速配達いたします
 平町壹丁目(電話一四一番)

藤 寅
 菊地寅治郎

一冊の代金で
 御希望通りの
五冊の雑誌
 自由に讀める
川崎文庫
 電話六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

是れは善い事だとか、是れ
 は悪い事だとか云ふ様な道徳
 等には支配されず、飽迄も
 彼等は本能主義に立脚し自
 己の本能の命する儘に働く
 結果は本能に反する事は悪
 であり、自己の本能通りに
 合致する事は善いのであり
 ます (續く)

御大典奉祝に 子供會を催す

白銀青年團の計畫 席上に高齢者招待

御大典奉祝其の爲めの計畫が着々準備され或る町は屋台を繰り出し或る町は花車を繰り出す、其奉祝の誠を披瀝すべく種々

雑多の企てが各町思ひ々に計畫されて居る而し夫等の多くは大人本位の企てであつて第二の國民たるべき子供等は全く閉却され獨りお祭り気分から取り殘されて居る、茲に眼をつけたのが白銀町青年

分團で、此の賦古の大典に際しては老ひも若きも悦びを共にせねばならぬと云ふので同町では御大典奉祝の子供會を開催する事に昨夜藤井分團長宅で開かれた、幹部會に於て

藤田女學校が 花の日會の催し

御大典奉祝の悦びを頌ち
純益を貧困者に贈る

平町藤田女學校々友會にては賦古の御大典を記念し此の奉祝の悦びを貧困者の人々にも頌つ趣旨に依つて花の日會を催す事になつた即ち

十四日の大嘗祭十六日の饗饌日の三日間に亘り同校職員生徒の製作に係る紅の菊花を街道に於て各通行人に一個十錢宛に賣り其純益を平警察署の調査に依る貧困者に對し適當の物品を寄贈



家庭關

藥草いろいろ
あかおさう 山野に自然生へる多年生の蔓草です

する企て、あつて東都に於ては既に十數年前より各種の婦人

團體の手に依つて花の日會を催し非常の好成績を擧げ今では年中行事の一つとして此の催しが都人士の人氣の集點となつて毎年待ちもうけられて居る程である、當地方に於ては未だ一同も此種の企てを觀た事がなく藤田女學校が御大典の記念として茲に着眼した

機宜を 得たるもの

として平警察署を始め警城新聞、警城時報の兩社及び弊社が極力此の企てを後援する事となつた因に趣旨書は左記の如くである

賦古の御大典を迎へ國民は擧げて感喜の極みなり國家至高の御慶儀に際し國民は上下貴賤の別なく齊しく其の慶を祝し其の喜びに浴せざるべからず然るに社會の一部には假令少數なりとも雖も種々なる事情のもとに所謂社會の下層に沈み日常の生活苦に悩むものなきにあらず等しく赤子の一員にあり乍ら千載一遇のこの御慶典を奉祝せん術なく心に深く煩悩苦しむものあらばこは誠に神意に添

はざるの遺憾事なりと思惟す、本校々友會に鑑みる所あり純情を捧げ赤誠を披瀝してこの憂に備へんとす即ち御大典奉祝の前後を主として街頭に花の日會を主催し其の賣上益金をばこれ等貧困の方々に頒ち共に其の慶に依らんとす、一つはこの花をば胸間にかざして奉祝の意を強く表象し一つは惠まれざる人々のため

就職して五日目に 炭車に挟まれ惨死

坑内稼ぎの朝鮮人

石城郡警崎村大字藤原三井炭坑後山夫朝鮮人崔順宗(三)は廿八日同炭坑の後山夫に就職し毎日坑内で石炭を運搬して居たが廿五日午後七時頃炭車を押して居た際後方から同僚金萬福の押した炭車が滑つて來て間に挟まれ胸骨を滅茶々に碎き内臓が破裂して即死した

募集

文藝其他投稿を募集します

反物行商

人造絹を本物と偽つて賣り廻る

宮城縣仙台市廿八日黒川力松方居住相馬郡石神村生れ吳服行商黒川勇(三)は廿二

蒸は方形で中空葉は心臟形または卵形で四葉づゝ一節に輪生し、莖葉ともに少し刺をもつてます。初秋に淡黄色の小花を綴り山椒に似た黒色球形の實を結び、根は分岐多く黄赤色であります。根を煎じて服みますと月經不順に効驗があるのです

石城の炭礦 活氣を呈す

出炭制限が 圖に當る

石城郡の五大炭礦が難境打開の爲去八月以來二割の出炭制限を行ひ其結果生産過剩による炭價の暴落を防ぎ現在東京市場渡し標準塊炭一噸廿三圓(昨年同期に比し約一圓安)を維持するに至つたが来る十一月から左記現在の出炭に對し發送に於て一割出炭で五分の増加をなす筈であるから經營苦を相當緩和されて來やう

其上に右一割五分の増加は冬場に臨む鐵道省需要増の契約完納を主とするもので地方の需要増加を見込むときは更に幾何かの出炭増加を必要とする爲に頃日各炭礦共に漸く活氣を呈して來

流行品陳列

東京三越の
廿八九の兩日
住吉屋本店に

へ通信販賣に依りて取引す、華客は年と共に増加するので同店では此等の便宜を計り平素の謝恩を兼ね又一面中央に於ける物價の標準を示すため既報の如く愈々明二十八日二十九日の兩日平町住吉屋本店に出張し今年秋冬季節向き三越獨特の最新流行品を陳列し一般來觀者を歓迎すると特に差し迫まつた御大典前の折柄儀式服及び御婚禮七五三等の御祝儀用萬端洩れなく取揃へ其の他流行の呉服雜貨類は勿論實用品格安反物特價品まで豊富に陳列並に販賣すべく價格は前回出張の際に比べ一割安く種類に依

りては三割以上も原價低落して居るので今面は奉仕的に優良品のみを意外の廉價斷行するとの事、當日は定めし觀覽者も多數なるべく豫想さる

自動車ポンプ 一臺購入

隣村と連絡を 取る爲平組が

平消防組では近接隣村に失火並に重大事件勃發した際活動機關がないため敏速なかく嫌があつたので過般來からは是が對策を協議中であつたが此程近接隣村と協議の結果更に自動車ポンプ一臺購入することに決定した

平町の 女給雇主が

共濟會を設立 檢診の結果疾病皆無

平町西洋料理組合の女給二十五名は十月一日から實施された花柳病豫防法により十五日藤沼醫師によつて第一回檢診を行つたところ疾病者一名もなく極めて良好なので今後とも萬全を期する意味から組合では女給に對し注意を與へなほ萬一罹病の際の豫防策として雇主並に女給等職金共濟會を組織し相互扶助の目的をばか